

# 平成 30 年度福井県計画に関する 事後評価

令和 5 年 8 月  
福井県

### 3. 事業の実施状況

平成30年度福井県計画に規定した事業について、令和4年度計画終了時における事業の実施状況を記載。

事業の区分	1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業	
事業名	【NO. 3】 高度急性期機能強化・機能分化事業	【総事業費】 871,011 千円
事業の対象となる区域	福井・坂井、奥越、丹南、嶺南	
事業の実施主体	福井県、医療機関	
事業の期間	平成30年4月1日～令和6年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	<p>地域医療構想の推進においては、高度急性期及び急性期機能を担う医療機関の医療機能及び救急搬送体制を十分確保したうえで、進めていくことが必要であり、地域医療構想調整会議の場でも急性期等の患者を転院等においても受け入れられる体制の確保が欠かせないという意見が多数あった。</p> <p>福井県においても、病床のバランスは急性期が多く、回復期が少ない現状があり、また、福井・坂井二次医療圏に高度急性期医療が集中している。そのため、高度急性期医療の充実や高度急性期医療へのアクセスを十分確保することが、回復期の転換や在宅医療の推進には欠かせない。</p> <p>アウトカム指標:30 年度基金を活用して整備を行う回復期病床100床 30 年度基金を活用して病床削減を行う病床数 31床</p>	
事業の内容（当初計画）	高度急性期機能を担う医療機関における医療機能の高度化及び救急搬送体制の強化に向けた具体策の検討、実施（心電図情報伝送システム、ドクターヘリ導入のため施設・設備整備含む）。	
アウトプット指標（当初の目標値）	転院搬送数、転院搬送にかかる時間の短縮化 急性期から回復期への転換の対象となる医療機関数 10施設	
アウトプット指標（達成値）	<p>転院搬送数、転院搬送にかかる時間の短縮化</p> <p>ドクターヘリを活用した転院搬送数:15 回 (R4 年度実績)</p> <p>覚知から医師接触までの時間短縮効果:平均 14 分の短縮 (R4 年度実績)</p> <p>医療機関までの搬送時間の短縮効果:平均 30 分の短縮 (R4 年度実績)</p> <p>H30 年度基金を活用し、急性期から回復期へ転換した医療機関数 R元:2 施設 (50 床)、R2:2 施設 (45 床)、R3:1 施設 (33 床)、</p>	

	<p>R4:1 施設(33 床)。  ※医療機関数としては多くはないものの、病床数(計 161 床)としては目標値を達成。</p>
事業の有効性・効率性	<p>観察できた(病床機能報告 2022. 7. 1 時点病床数)  一般・療養病床が前年度に比べ▲100 床(8,882→8,782)削減された。  回復期病床が前年度に比べ 178 床(1,718→1,896)増加した。</p> <p><b>(1) 事業の有効性</b>  高度医療機関と地域の病院との役割分担を明確にすることで、安心して回復期に転換できるようになる。また、高度医療機関がない地域からの高度医療へのアクセスが確保される。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b>  高度医療機関と地域の病院との役割分担を図りつつ、医療資源が乏しい地域の医療アクセスや地域で不足している回復期機能を確保できる。</p>
その他	<p>(年度別基金活用実績)</p> <p>H30:11 千円 R 元 : 10,653 千円 R2:406,353 千円 R3:106,444 千円  R4:229,683 千円</p>

事業の区分	1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業	
事業名	【NO. 4】 病床の機能分化・連携を推進するための支援	【総事業費】 279,311 千円
事業の対象となる区域	福井・坂井、奥越、丹南、嶺南	
事業の実施主体	福井県、福井大学医学部附属病院	
事業の期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	<p>本県においては、地域に急性期を脱した患者や中・軽症患者を受け入れる病床や人材が少なく、病床の機能分化・連携が進んでいない。そのため、回復期の整備や外来機能の強化とそれらを担う人材を一体的に整備することが機能分化、回復期等の充実には必要不可欠である。</p> <p>【27年度病床機能報告による回復期病床】 福井・坂井 620床 奥越 90床 丹南 232床 嶺南 90床</p> <p>アウトカム指標:回復期病床 2015年:1,032床 →2025年:2,646床</p>	
事業の内容（当初計画）	回復期に転換する医療機関や転換予定の医療機関で必要となる総合診療医や救急医、内科医等の派遣・育成に伴う医療体制整備	
アウトプット指標（当初の目標値）	医療機関への医師派遣数：11人	
アウトプット指標（達成値）	医療機関への医師派遣数：47人(延べ)	
事業の有効性・効率性	<p>観察できた（病床機能報告 2022. 7. 1 時点病床数）</p> <p>一般・療養病床が前年度に比べ▲100床（8,882→8,782）削減された。回復期病床が前年度に比べ178床（1,718→1,896）増加した。</p>	
	<p><b>(1) 事業の有効性</b> 回復期等を担う医療機関に対し、医師派遣や指導を行うことで、不足する回復期を担う人材を確保できた。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b> 福井大学と連携することにより、回復期等に必要な内科や総合診療医等を効率的に育成できている。</p>	
その他	<p>（年度別基金活用実績）</p> <p>H30:127,165千円 R元：35,065千円 R4:117,081千円</p>	

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.1 (介護分)】 介護実習・普及センター運営事業 (初心者のための介護技術向上研修)	【総事業費】 902 千円
事業の対象となる区域	福井・坂井、奥越、丹南、嶺南	
事業の実施主体	福井県 (福井県社会福祉協議会へ委託)	
事業の期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	高齢者の介護に携わる初任者の介護職員が正しい介護知識・介護技術を身に付け、県全体の介護の質を向上させる。 アウトカム指標：初任者の介護職員が介護技術の基礎を学び、正しい知識のもとサービス提供できるようになること。	
事業の内容 (当初計画)	初任者の介護職員が将来展望をもっていきいきと働き続けることができるよう、資質向上を図る。	
アウトプット指標 (当初の目標値)	講座実施回数：18回	
アウトプット指標 (達成値)	研修実施回数：18回	
事業の有効性・効率性	観察できた 研修実施回数 18回  <b>(1) 事業の有効性</b> 介護の基本的な知識や正しい福祉用具の使い方および介護技術に関する研修を行い、介護人材の資質向上を図ることができた。 <b>(2) 事業の効率性</b> 各施設がそれぞれで研修しなければならない正しい介護知識・介護技術を、当事業で中堅の施設職員に対して集合研修し、県全体の介護の質の向上を図ることができた。	
その他		